



阿像

吽像

有形文化財（彫刻）

29. 木造狛犬 2頭一対

■指定年月日 昭和63年3月18日（1988）

■像 高 阿像64.0cm 吽像63.0cm

■所在地 上戸町寺社2-62

■所有者 上戸気多神社

両像とも檜材ひのきの一木造りで、体の前後部を割りついでいる。阿像の頭部に別材の耳を取りつけた浅い切り込みと、同じく別材の尾を取り付けた穴が残るが、吽像にはそれがみられない。たてがみは阿像が巻毛、吽像は流し毛で両像とも太く彫り出している。

阿像には、虫害やいたみがやや目立つが、2頭とも能登に残っている狛犬の中でも、ひときわたい体く軀もどっしりと大きく、重量感に満ちた姿で、製作年代は、能登では遺存例が少ない鎌倉時代の様式と考えられている。また彫刻的にもすぐれた文化財である。

上戸気多神社は、明治期までは上戸一宮いちのみや気多社

を称し、羽咋ほくいの能登一宮気多大社の神を勧請したものである。同寺社地内の真言宗高照寺が当神社の別当寺として奉仕したもので、この狛犬は近年まで高照寺に保管されたものと伝えられている。

なお当社には、中世の木造如来坐像・随神像・地藏菩薩懸仏等、奥能登の神道文化史上貴重な資料が残されている。